

# 感想集 & 報告集

緊急学習会

## 新たな『部落地名総鑑』と どう向き合うか!!

部落地名総鑑事件の発覚から40年を経たいま、その原典とされた「全国部落調査」に現在地名を書き加えた書籍を復刻販売しようとする動きが起こりました。部落解放同盟を中心とする全国の仲間たちの闘いで、出版差し止め処分が出されると、今度は、ネット上でばらまくという暴挙を行いました。なぜ、いまこのようなことが起こってきたのか、また「どこが部落かを明らかにすることこそ差別を解消すること」と主張する彼等の動きに、私たちはどう立ち向かっていくのか、問題提起をもとに皆さんと話し合いたいと思い緊急学習会を企画しました。ぜひ、誘い合わせてご参加ください!!

日時：2016年6月25日(土) 午後14:00～17:00

場所：松江市市民活動センター (STICビル) 交流ホール  
(松江市白湊本町43番地 電話:0852-32-0800)

問題提起：外川正明さん(公立鳥取環境大学教員)  
坂田かおりさん(部落解放同盟鳥取県連西部地協女性部長)

日程：14:00 事前学習「部落地名総鑑事件」で問われたこと  
15:00 問題提起の視点  
・新たな「部落地名総鑑」の発刊の動きとは……  
・続発する身元暴き事件の現実とは……  
・「名乗ること」と「暴くこと」をどう考えるか……  
・いま、私たちが取り組むべきことは……  
・質疑応答  
17:00 閉会予定

参加費、資料代 500円

主催：人権パッチギの会 松江 問い合わせ先：080-6311-3310(安部)



## 参加者の感想

■今日は途中からの仲間入りとなり、本当に申し訳ありません。部落差別の実態は少し聞いたことがあるのですが、やはり深刻な問題だと思います。部落出身の友のことを身近なおじさんがものすごく卑しそうな顔をして話しておられるのには心が痛みました。中国、朝鮮のかたにも同様な思いを持ったものです。

卑しいものとは何か？ 自分ではどうすることもできないもので、いじめられたらその人の一生はどうなるのでしょうか。そういう対象は暖かく愛の目で見つめてあげるべきものなのです。人を苦しめる行為や発言が卑しいのです。

いじめる行為を観たら堂々と止める思想や態度をもって欲しいものです。  
(60歳代 雲南市)



■島根県松江市で開催されたにもかかわらず、問題提起者がどちらも鳥取県から。島根の方で語るができなかったのでしょうか。決して巧みな話者とは言い難い。内容が私には理解に遠く及ばないのです。聞き手側をどの程度把握して外川さんはお話だったのか本当に閉口しました。坂田さんにしてもポイントは手短かにお願いしたいですね。事柄が多ければいいはず？ 部落差別はあるという前提に立っていることにどうしても受け入れられません。名乗ることと暴くことは違う。差別は形を変えてたくさんあり、ご本人は平静ではいられないでしょう。

結局、最後まで鳥取ループって何なのか分からないまま退場します。素直に申しますと期待はずれでした。(すみません)

(60歳代 松江市)



■本日はたくさんのお話を学ぶことができありがとうございました。

話の中で「差別する側」にいるものが「どう行動するのか？」ということが大きなポイントとなるということをお聞きしてとても納得しました。

自分は今、啓発等をする立場の職(役割)にいますが、「いかに仲間を増やすか」(自分たちの考えに賛同してもらえる人を増やすか)ということテーマにして推進を行っています。

仲間を増やしていけるように自らが動いていこうと改めて思いました。  
(40歳代 松江市)

■「地名総監」の問題は決着したと思っていたところ“新たな拡散”と聞いて参加させていただきました。鳥取ループ、ネット拡散など初めて知りました。

良い機会となり、ありがとうございました。  
(60歳代 松江市)

■勉強になる会でした。このような状況の中私たちが何ができるかを問い続けていかなければならないと感じました。

(40歳代 松江市)

■今日は差別や人権の問題の中で、本音できちんと話ができる、相談できる人間関係をつくることの大切さを学べたと思います。また、その様な信頼関係を作っていくことの大切さも感じました。その様なつながりがその他の平和を築く活動につながっていくと感じました。

平和の問題は抽象的な事ではないと、自分自身を少し反省しています。  
(50歳代 出雲市)

